様式１

令和２年４月１日

令和２年度　学校経営環境分析書

天応中学校区　校番　１６　　学校名　呉市立天応中学校

１　学校の内外環境の分析

外部環境	**O**（支援的要因） ① 若竹見守り隊や民生児童委員協議会等，協力的・支援的な関係機関が多く，地域全体で生徒を見守る態勢がある。 ② 地域の行事が活発で学校が参加しやすい。 ③ ＰＴＡ役員に理解があり協力的である。 ④ 仮移転に伴い，呉市教育委員会からの全面的な支援がある。 ⑤ ＪＲ呉ポートピア駅・ＪＲ天応駅・広電バス停・呉ポートピア港等，交通拠点が多い。	**S**（強み） ① 全教職員が，生徒一人一人を把握しやすく，また生徒に関する情報共有の体制がある。 ② 教職員が誠実で意欲的であり熱心に生徒に関わる。 ③ 生徒指導に対しての対応が迅速である。 ④ 生徒が素直で温かい。言われたことはきちんとできる。 ⑤ 小学校と中学校が災害を機に同じ校舎で生活しており，小中一貫教育が更に進めやすい。	内部環境
	T（阻害的要因） 【地域】 ① 豪雨災害に伴う人口流出により，地域の活力が低下した。 ② 家庭の教育力に大きな差が見られる。 ③ 塾への依存や家庭学習が定着していない実態がある。 ④ 保・幼→小→中と９年間以上の固定的な人間関係が生まれる。 ⑤ 台風や大雨による土石流や浸水被害の危険性が高い。	**W**（弱み） 【学校】 ① 空き教室がなく，施設利用に際し，小学校との事前の調整が必要である。 ② 業務量の多さと教職員の少なさからくる教職員の多忙感。 ③ 家庭への情報発信が少ない。 ④ 小学校からメンバーの固体化により，新たな人間関係づくりや新たなものへ挑戦する意欲に乏しい。 ⑤ 部活動の数が少なく，生徒のニーズに応えきれていない。	

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

① 地域人材の活用
② 生徒の頑張りの発信
③ 生徒会活動の活性化
④ 義務教育学校への移行に向けた小中一貫教育のさらなる推進

① 防災教育の推進
② 業務改善の推進
③ 学力向上
④ 自己肯定感の育成
⑤ 人間関係づくり

弱みを克服し，阻害要因を回避する解決策は

２　重点課題

① 学力・学習意欲を向上させる
〇授業力の向上ー生徒の主体的な思考を促す発問の工夫を主点とした組織的な授業改善を図る。
〇家庭学習の定着ー「チャレンジ家庭学習」「やりきり学習会」「天中タイム」
② 豊かな心と健やかな体を育成する…生徒の自治活動を生かす取組
〇自己肯定感の育成ー感動のある各種行事の創造と適切な評価。生徒会活動の活性化。
〇総合的な学習の時間の充実ー地域とのつながり（協働，貢献，感謝），防災教育の充実。
〇新体力テストへの取組ー学校全体での取り組み，運動能力向上への意識づけ，重点種目の再挑戦
③ 教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備
〇ＰＤＣＡのマネジメントサイクルに基づく業務改善・業務削減の推進
〇部活動休養日の定着。定時退校の徹底。